

## 日本原子力技術協会による浜岡原子力発電所の防火管理レビュー結果について

2010年12月10日

当社は、2010年11月30日～12月2日の期間で、日本原子力技術協会※による浜岡原子力発電所の防火管理に係るレビューを受けました。その結果についてお知らせします。

### 【レビュー内容】

- 浜岡原子力発電所の防火管理全般について、書類確認、火気作業や危険物作業に携わる関係者への聞き取り、4号機定期検査現場での取り組み状況の観察。
- 「5号機タービン建屋3階における電動ノコギリからの出火」事象に対する再発防止対策の進捗状況の確認。

### 【レビュー結果】

- 発電所の防火管理全般に関して、産業界の平均的な水準を満足しないような「改善すべき事項」は認められなかった。また、更に高い水準を目指すための「助言事項」を提案するとともに、「良好事例」を抽出。

#### 「主な助言事項」

- ・低レベル放射性廃棄物の発生量低減のため、火気作業ではない作業で可燃シートが多く使用されているが、防火管理の観点から可燃シート等使用の低減を検討することを推奨する。
- ・原子炉格納容器内の火気作業では専任監視員を配置するルールとなっている。火災防止の取り組みの更なる強化のため、それ以外のエリアへの専任監視員の配置範囲の拡大を推奨する。
- ・火災リスク低減のため、建屋内での引火性洗浄液の小分け作業を制限することを推奨する。

#### 「主な良好事例」

- ・危険物の管理システムを用いた防火管理部署による危険物使用量の一元管理。
  - ・第一発見者が迷わず連絡できる通報連絡に係る効果的な取り組み。
  - ・体験型防火訓練の導入。
- 「5号機タービン建屋3階における電動ノコギリからの出火」に対する再発防止対策は、計画にしたがって実施されており、通報連絡に関する改善や危険物の持ち込み管理の強化などの対策が実効的に取り組まれている。

当社は、助言事項について検討し、浜岡原子力発電所の防火管理の向上を図っていきます。

※ 日本原子力技術協会とは、技術基盤の整備、自主保安活動の促進および原子力産業の活性化を図る目的で、2005年3月に設立された組織であり、日本の電力会社やメーカー等、122社が会員となっています。

(これまでにお知らせした内容)

当社は、2010年5月12日に発生した「[浜岡原子力発電所5号機タービン建屋3階における電動ノコギリからの出火](#)」を踏まえ、浜岡原子力発電所の防火管理の改善に取り組んでいます。

その一環として、本日より、日本原子力技術協会による防火管理レビューを受けていますのでお知らせします。

([2010年11月30日お知らせ済み](#))

以上